

推薦：一般財団法人 全日本交通安全協会

自分の運転は大丈夫。
そう思っている人ほど危ない！

あなたの運転

再チェック!

—危険ですしているつमりの安全運転—



ドライバーの運転を
徹底的に観察!

車内に5台の小型カメラを取り付け、
運転指導のプロが映像を分析します。

¥70,000(税別) DVD [本編25分+短縮版15分 | 字幕付 | 16:9 | カラー]

 このDVDには、本編(25分)と、短縮版(15分)が収録されています。それぞれ、日本語字幕を選択できます。

[企画・制作・著作] 斉藤プロダクション

あなたの運転 再チェック!

—危険です、しているつもり of 安全運転—

制作意図

近年、最高速度違反や、酒酔い運転といった悪質な違反行為による交通死亡事故は減少しています。しかし脇見運転や安全不確認といったドライバーの不注から起きる死亡事故が占める割合は多くなっています。

「自分の運転は大丈夫。事故を起こすはずはない。」そう思い込んでいるドライバーほど危険と言えます。安全運転を心がけているという3人のドライバーの運転を、車内に5台の小型カメラを取り付けて記録し、その映像を運転指導のプロが分析しました。この今まで例のない手法をとることにより、ドライバーの意識と、実際の運転のギャップと盲点が見えてきました。

本作は、安全運転を心がけているドライバーの方々に、改めてご自身の運転を見直してもらい、改善点を発見して事故防止に役立ててもらうために制作しました。

構成内容

◆交通死亡事故の原因で多いのはどんな運転?

ドライバーへの街頭インタビューで最も多かった回答は「最高速度違反」だった。しかし実際に起きた死亡事故は「脇見運転」が最も多かった。※平成24年 原付以上運転者(第1当事者)の法令違反別死亡事故件数 警察庁統計による。

◆安全運転とは何か?

悪質な違反をしていないというだけでは、安全運転とは言えない。ほんの少しの油断やミスでも、重大事故に繋がってしまうのだ。では、実際に私たちはどれくらい安全運転を実践できているだろうか?

◆あなたの運転 再チェック!

普段から安全運転を心がけているという3人のドライバーの運転を徹底的に観察。車内に5台の小型カメラを取り付け、運転指導のプロが映像を分析した。その中で、自分の意識と、実際の運転のギャップが見えてくる。

Part1～40代男性「しているつもり of 安全運転」

路上駐車した車を追い越そうとするとどんな危険があるだろうか? 「突然ドアが開く」「車の先からの飛び出し」とドライバーは危険予測は出来ていたにも関わらず、実際の運転では駐車車両のすぐ脇をそのまま通りぬけていた。自分では無意識のうちに、危ない運転をしていることがあるのだ。

Part2～60代男性「右折・左折時の確認」

右折、左折のときに見るべきポイントとは? ドライバーの視線はどうしても進行方向に行きがちだが、歩行者や自転車を見落とさないよう、左右を広く確認しておかなければならない。とくに気を付けたいのは曲がろうとする内側だ。ドライバーの死角になりやすいので、首をふってしっかりと確認することが大切だ。

◆正しい運転姿勢

ハンドル、ブレーキを確実に操作することが安全運転の基本である。そのもととなるのが、運転姿勢だ。ここでは、一般ドライバーに正しい運転姿勢をレクチャーし、その効果を実感してもらう。

◆運転チェック

Part3～20代女性「危険に備える運転」

細い路地。駐車場の出口。見通しの悪い道などではいつ飛び出しがあるか分からない。そんなとき、私たちはどんな運転をするべきか。危険予測をするだけでなく、運転操作として危険に備える行動をとることがドライバーには求められている。

◆運転の疲れ

長時間運転をするドライバーを観察。安全運転を妨げる疲れへの対策は早めの休憩が重要だ。また、車内・車外で出来る簡単なストレッチを紹介する。

◆まとめ

運転に慣れると、誰もが「しているつもり of 安全運転」になってしまう可能性がある。そのことを忘れずに、常に危険への注意力を持ち続ける事が大切だ。



右折・左折のポイント



正しい運転姿勢



危険に備える運転とは



運転の疲れ対策

出演: 西田敬・辺見のり子 ナレーター: 北斗誓一 制作代表: 斉藤健太郎 企画: 斉藤宏子 プロデューサー: 鈴木浩 演出: 遠山慎二
撮影: 市川任男 技術: 伊賀俊徳 選曲: 合田享生 助手: 梅田駿・前田大和
協力: 早稲田大学人間科学学術院/尾久自動車学校/政和自動車株式会社/四谷無三四堂 [企画・制作・著作] 斉藤プロダクション

各都道府県・各地区交通安全協会
一般財団法人全日本交通安全協会

〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-13 TEL:050-3531-0571

お問合わせ
お申し込み